

2023年1月16日

報道関係 各位

住友不動産株式会社

ペットボトル水平リサイクルを「見て、知って、始めよう」

ペットボトルで作った巨大『恐竜化石アート』が新宿住友ビルに登場 ～新宿のオフィスワーカーと創る水平リサイクルの象徴 アート材料となるペットボトルの回収を開始～

住友不動産株式会社(東京都新宿区、代表取締役社長：仁島 浩順、以下「当社」)は、サントリーグループとの協働のもと、2022年3月1日より、オフィスビルで国内初※となるペットボトル水平リサイクルを開始しておりますが、今般、ペットボトル水平リサイクル取組みの更なる促進に向け、2023年1月27、28、29日に、使用済みペットボトルを原料とした巨大『恐竜化石アート』の展示を中心としたイベントを、新宿住友ビルの大規模アトリウム空間「三角広場」にて主催します。

イベント開催に先立ち、2023年1月16日より、新宿住友ビルのオフィスワーカーを対象として、アート作品の材料の一部となる「使用済みペットボトル」の回収を開始いたしましたのでお知らせいたします。

※事業系PETボトルを対象として、オフィスビルで恒常的にPETボトル水平リサイクルを行う取組みは国内初(当社調べ)

ペットボトルアート イメージ



ペットボトル回収BOX 「ペットボトルポスト」 (新宿住友ビル1階エレベーターホール)



恐竜の化石は、長い年月をかけて石油となり、ペットボトルの原料に使われる。
ペットボトルによる化石の再現で、時代を超えた限られた資源の大きな循環を表現
(制作：東京藝術大学後援 KOMOGOMO展活動委員会)

イベント概要

- ・開催日、場所：2023年1月27日(金)～29日(日)「TOKYO キッズフェスタ」内 in 新宿住友ビル三角広場
- ・企画内容 (参加無料)：①巨大PETボトルアート作品の展示
②お子様向けアートワークショップ(恐竜標本パズル、ペットキャップアートパズル)
③PETボトル水平リサイクル教室 (28日(土) 12時・14時・16時開催、30分/回)
- ・目的：オフィスワーカー・お子様を対象として、ペットボトルリサイクルに「興味」を抱いてもらい水平リサイクルへのより一層の協力を促進することで、循環型社会の実現に貢献する

(参考)

■イベント開催の背景

ペットボトル水平リサイクルは、高度な技術を用いて使用済みボトルを飲料用ボトルに再生することで、ペットボトルを、「何度も循環利用可能な資源」とする手法であり、循環型社会の実現に大きく貢献するとして、注目を集めています。

当社は、サントリーグループの協力の下、2022年3月より新宿のオフィスビル3棟でペットボトル水平リサイクル取り組みを開始しており、これまで10か月間で約115トン(500mlボトル600万本弱相当)の使用済みペットボトルを、飲料用ボトルに再生する工程に回しておりますが、水平リサイクルの大前提である「分別」に課題は多く、特にご家庭外においては従来あまり意識されていなかった、キャップ・ラベルの分別は、改善傾向でありつつも、今一步の状況です。

家庭では当たり前の「分別」が、オフィスにおいてなかなか進まないのは、リサイクル意識・必要性の理解、浸透が不足していることも一因があります。

そこで、まずは水平リサイクルに興味を持ってもらい、ともにリサイクルを進めることを目指して、オフィスビルの1階に、就業者が排出した使用済みのペットボトルを原料とした、「巨大アート作品」を展示するイベントの開催を決定いたしました。

水平リサイクル向け
ペットボトル回収実績

(2022/3-2022/12、新宿3物件計)



115トン
約 600万本 分

(500mlボトル1本あたり20g換算)

<啓発による分別状況改善(2月→12月)>

飲み残し・異物混入無 70% → 90%超

キャップ・ラベル無 10% → 30%

■「ペットボトルポスト」について

サントリーグループが制作したポスト型のペットボトル回収ボックス。「ペットボトルは、正しく分別すれば、新しいペットボトルに生まれ変わり、次の人に届く。」「街中にあるリサイクルボックスはゴミ箱ではなく、次の人に届く入口、すなわちポストみたいなものである。」と多くの方に思ってもらいたいという想いで制作されました。

サントリーグループは、循環型社会の実現に向け、使用済みペットボトルをゴミではなく、大切な資源として、ご家庭の外でも分別していただけるよう取り組んでいます。



SUNTORY
SUNTORY BEVERAGE & FOOD

■「TOKYOキッズフェスタ」について

住友不動産グループが運営する商業施設「羽田エアポートガーデン」「有明ガーデン」の注目・人気テナントを中心に、新宿住友ビル三角広場において3日間限定で行われる、キッズはもちろんオトナも楽しめるファミリーイベントです。

全長20m越えの実物大恐竜や、大型遊具など、様々なコンテンツが集まります。



詳細はこちら: https://www.shopping-sumitomo-rd.com/tokyokidsfesta2023/?utm_source=triangle&utm_medium=hp

■ 恐竜ペットボトルアート

ペットボトルから生まれ、ペットボトルへ返る。循環するアート

・コンセプト

映画の中で、恐竜が琥珀に閉じ込められたDNAから蘇るのと同様に、使用済みのペットボトルもリサイクルにより新たに蘇り、循環すると伝えたいとの思いから、等身大のティラノサウルスの骨格標本を制作しました。

「骨」として使用した材料は、唯一、新宿エリアで働く皆さんから分別・提供いただいた使用済みペットボトルのみ。「循環」を妨げないために、接着剤は一切使わず、様々な大きさや形のペットボトルを潰したり、ひも状に加工したペットボトルを糸に見立てて縫い合わせたり、熱を加えて形を変形させ圧着させたりして成形しました。

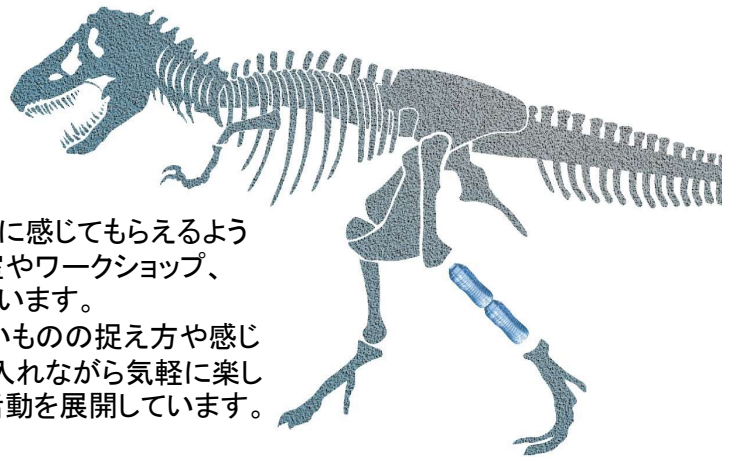
また、イベントに訪れたお子さまにご参加いただける取り組みとして、ミニサイズの骨格標本を組み立てて遊びながら恐竜の体の構造を学べる骨格標本パズルと、ペットボトルのフタを使って制作したカラフルなアートパズルも展示します。

・アーティスト

展示するアート作品は、コモゴモ展という東京藝術大学のOB・OGによるアート団体が制作しました。

コモゴモ展では、美術や音楽をもっと身近に感じてもらえるように、一緒に楽しく学びながら体験できる教室やワークショップ、アートマーケット、コンサートなどを開催しています。

アートに触れることで今までと違った新しいものの捉え方や感じ方を体験したり、日常にも少しアートを取り入れながら気軽に楽しんでもらいたいとの思いから様々なアート活動を展開しています。



■ 制作風景

ペットボトルで作った「頭蓋骨」のパーツ



材料として集積したペットボトル



本リリースに関する取り組みは、下記のSDGs目標に貢献しています

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



住友不動産は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

< 弊社のESG、SDGsに関する取り組み >

<https://www.sumitomo-rd.co.jp/sustainability/sdgs.html>